# 2023年度(令和5年度)

# 産業・地域版デジタル化実行計画 評価報告書

# 地域のデジタル化

## 【総括(評価のまとめと今後の方向性)】

#### 【安心・快適な暮らしの実現】

医療・福祉分野では、視覚障がい者向け電子図書やこども発達支援センターのオンライン診療を 新たに導入した。今後は、利用者の増加に向け、利便性の周知等に取り組む。

モビリティ分野では、レベル4の無人自動運転移動サービスの構築に向けて、交通事業者や外部 有識者の意見を取り入れながら、走行ルート等の調査を実施した。今後は、関係者で構成する協 議会を立上げ、運行方法等を精査するとともに、現地での実証実験に取り組む。

#### 【希望のライフスタイルの実現】

ヘルスケア分野では、フレイルチェックや健康増進アプリの周知に取り組んだが、利用者が伸び 悩んでいる。イベントでの周知等、引き続き利用者の増加に向けて取り組む。

子育て分野では、スマート保育を新たに39施設に導入した。引き続き、機能面や運用面の改善を行い、利便性向上を図る。

### 【地域コミュニティのデジタル化と人材育成】

地域コミュニティのデジタル化支援では、市内全学区の希望者を対象に、地域活動のデジタル化の事例紹介やLINE活用セミナーを実施したほか、地域住民が継続的にデジタル機器に触れるモデル事業として、2か所の交流館でスマートフォンアプリを活用した相談会や交流セミナーを実施した。引き続き、電子回覧板の利用拡大やボランティアポイント等地域活動のデジタル化に向け、LINE研修会等の開催に取り組む。

### 【評価結果一覧】

基本方針	施策	事業数	評価
	(1) 防災・見守りなどへのデジタル活用	2	В
1 安心・快適な暮らしの実現	②医療・福祉・介護分野へのデジタル活用	3	В
	(3)自動運転やモビリティサービスの実証	3	Α
	(1)デジタル技術を活用した健康状態の見える化	2	С
2 希望のライフスタイルの実現	(2)子育て支援のデジタル化	2	В
	(3)デジタル技術などを体験する場の提供	2	Α
3 地域コミュニティの	(1)地域活動のデジタル化支援	3	В
デジタル化と人材育成	(2)地域のデジタル人材育成	3	Α

### 一評価方法について―

① 各施策に位置付く事業の目標達成率を算出し、点数化

5点(◎):達成率 100 %以上

4点(○):達成率 80 %以上 100 %未満 3点(△):達成率 60 %以上 80 %未満

2点(×):達成率 60 %未満

② 施策ごとに平均点を算出し、評価

A: 平均 4.5 点以上

B: 平均 3.5 点以上 4.5 点未満 C: 平均 2.5 点以上 3.5 点未満

D: 平均 2.5 点未満

# 基本方針1 安心・快適な暮らしの実現

施策名	2023年度 実	産施状況の総括		今後の方向性				
	【民生委員のタブレット端末の活用】			【民生委員のタブレット端末の活用】				
(1)防災・見守りなどへの	・民生委員のタブレット端末の活用にお	おいて、民生委員へタ	ブレット端末を配	・定期的なアンケートを	を通じて、効果的な活用事	¥例を他地域に共有し、タ	マブレットの活用機会を	
デジタル活用	布し、実証をした結果をまとめた。効果	果を実感するまでに期	間を要することが	創出する。				
	課題。			【高齢者の緊急通報体制	整備事業】			
評価	【高齢者の緊急通報体制整備事業】			・民生委員と連携し、見	見守り支援が必要な家族等	へ直接周知することで、	利用者の増加に向けて	
	・地域包括支援センターとの連携や広幸	吸ふくやまへの掲載な	どの周知に取り組	取り組む。				
В	み、利用者は増加しているが、目標達原 増やすための取組が必要である。							
個別事業名	事業概要	目標スケシ	<b>ジュール</b>	2021年度(参考値)	2022年度	2023年度	2024年度	
避難情報一括送信システムの導入(「行		導入スケジュール	実績値/目標値	_	導入/導入	終	7	
政版デジタル化実行計画」より再掲)	体へ情報を一括送信できるシステムを導入		達成状況	_	0	祁公	· J	
民生委員のタブレット端末の活用(「行	民生委員のタブレット端末の活用(「行		実績値/目標値	_	85台/100台(試験導入)	85台/85台(実証実験)	試験導入の結果を基にした 方針に伴う実行	
□ 政版デジタル化実行計画」より再掲) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			達成状況		0	0	_	
<ul><li>③ 高齢者の緊急通報体制整備事業</li></ul>	緊急時の通報装置と見守りセンサーを貸 利用者数		実績値/目標値	_	362人/940人	394人/970人	一/1,000人	
② 同即自い系心地戦体制登開争未	与し、24 時間見守る体制を整備		達成状況	_	×	×	_	

基本方針1 安心・快適な暮らしの実現

施策名	2023年度 実	今後の方向性					
(2)医療・福祉・介護分野への デジタル活用	【介護ロボット導入支援事業】 ・介護事業者への介護ロボット等の導力 【視覚障がい者向け電子図書の導入】 ・視覚障がい者の読書機会の拡大に向い 子図書を導入したが、目標達成には至り	ナ、音声自動読み上げ	機能に対応した電				
評価 B	が必要である。 【こども発達支援センターオンライン記・来所が困難な再診利用者に向けたオン ての利用者が満足と回答するなど、診察・オンラインでの再診件数は目標を下しなっている。初診時は利用できないなるのある人へ適切な周知が必要である。	ンライン診療を開始し 察の利便性の向上に寄 回ったが、利用件数は	与した。 徐々に増加傾向と				
個別事業名	事業概要	目標スケシ	<b>ジュール</b>	2021年度(参考値)	2022年度	2023年度	2024年度
① 医療のデジタル化に係る実証実験の 実施		体験会及び実証実験 の実施件数(累計)	実績値/目標値 達成状況	_ _	一/1件 ×	終	7
② 介護ロボット導入支援事業	社会福祉法人等が介護ロボット等を導 入する経費の一部を補助	介護ロボット導入事 業所数(累計)	実績値/目標値 達成状況	14事業所/14事業所 ◎	23事業所 ∕ 19事業所	33事業所 / 28事業所 ◎	-/33事業所 -
┃③ 視覚障がい者向け電子図書の導入	音声自動読み上げ機能に対応した電子 図書を導入	利用者カード交付者 数(累計)	実績値/目標値 達成状況	-		18人/24人	一/26人 —
	市外在住や育児など、来所が困難な再診利用者 を対象としたオンライン診療を実施	オンラインでの再診 件数	実績値/目標値 達成状況	_ _	<u> </u>	21件/33件	ー/50件 ー

基本方針1 安心・快適な暮らしの実現

施策名	2023年度 実	施状況の総括		今後の方向性				
(3)自動運転やモビリティサービス の実証 評価	・レベル4の無人自動運転移動サービスの構築に向けて、福山市自動運転推進 ・ 懇話会での外部有識者の意見を取り入れながら、走行ルートや車両選定等の調 実 査を実施した。 【モビリティサービスの実証】 ・オンデマンド乗合タクシーでは、導入エリアを7地区に拡大し、目標を達成 ・ した。引き続き路線バスの運行維持が困難な地域が増えていることから、移動 む			【自動運転社会を見据えた実証実験の実施】 ・2027年度の移動サービスの実装に向け、各関係者で構成する協議会を立ち上げ、現場での実証実験を実施する。また、運行頻度や安全対策などを精査し、サービスの実装モデルの構築に取り組む。 【モビリティサービスの実証】 ・オンデマンド乗合タクシーでは、移動手段の確保に向け、導入エリアの大幅な拡大に取り組				
個別事業名	・新モビリティサービスでは、実装に向けた協議・調整を行うため、事業者や は公安委員会などで構成される協議会を設立した。			・協議会で各関係者の意見を取り込みながら、グリーンスローモビリティを活用した移動支援と 店舗・施設などの様々なサービスを連携させた新モビリティサービス事業の実装に向けて取り組 む。				
<ol> <li>自動運転移動サービス実証事業</li> </ol>		自動運転移動サービ スの実装に向けた取 組		2021年度 (参考値)  ・運転席有人による実験 (公道)  ・運転席無人による実験 (閉鎖空間)	2022年度         ・運転席有人による実験(公道)         ・走行環境の調査	2023年度 自動運転移動サービス(レベル4)に向けたルート等の調査の実施/自動運転移動サービス(レベル4)に向けたルート等の調査の実施	2024年度  -/自動運転移動サービス (レベル4) に向けた実証実験の実施	
またでするなりなりできまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	オンデマンドモビリティシステムによ る乗合タクシーの運行	導入エリアの拡大 (累計地区数)	実績値/目標値 達成状況	5地区∕5地区 ◎	6地区/6地区 ◎	7地区/7地区 ◎	-/8地区 -	
新モビリティサービス実証実験の実 施	グリーンスローモビリティ等と多様な サービスを連携させる実証実験の実施	実証実験の実施件数 (累計)	実績値/目標値	4件/4件	5件/5件	新モビリティサービスの実装に向けた 協議会の設立/新モビリティサービス の実装に向けた協議会の設立	ー/新モビリティサービスの実装	
			達成状況	©		©	l –	

## 基本方針2 希望のライフスタイルの実現

	施策名	2023年度 実	産施状況の総括		今後の方向性			
	(1)デジタル技術を活用した 健康状態の見える化 評価	【健康増進アプリの導入】 ・昨年の課題であった登録者数の増加をし、登録者数が前年度比約1.8倍になっ 【フレイルチェックのデジタル化】		体での登録を開始	【健康増進アプリの導入】 ・新規登録キャンペーンなど新規登録者の確保に取り組むとともに、継続利用者が飽きることなく健康づくりにアプリを活用できるような取組みを実施する。 【フレイルチェックのデジタル化】			
	C	・昨年度の利用回数から大幅に減少してする必要がある。	・フレイルチェック会や市公式LINEを活用したフレイルチェックなどをより多くの人に周知できるような取組みを実施する。					
	個別事業名	事業概要	目標スケシ	<b>ブュール</b>	2021年度(参考値)	2022年度	2023年度	2024年度
1	健康増進アプリの導入(「行政版デジタル化実行計画」 より再掲)	ナス辛鞅白しレ州洋羽牌の改美な図え	アプリのユーザー登 録者数	実績値/目標値 達成状況	_ _	2,585人/10,000人 ×	4,752人/6,500人	一/6,600人 一
2	フレイルチェックのデジタル化(「行政 版デジタル化実行計画」 より再掲)		フレイルチェック実 施人数	実績値/目標値 達成状況	4,971人/7,260人 △	11,999人/9,660人	9,325人/13,550人	_ _

# 基本方針2 希望のライフスタイルの実現

施策名	2023年度 実施状況の総括			今後の方向性				
(2)子育て支援のデジタル化	【スマート保育の実施】 ・スマート保育を新たに39施設に導入 <sup>-</sup> 【オンライン相談・オンライン「おし <sup>-</sup>	【スマート保育の実施】 ・スマート保育を市内全施設へ導入する。併せて、機能面や運用面の改善を行い、利便性向上を 図る。						
評価	・新型コロナウイルス感染症による行動	【オンライン相談・オンライン「おしゃべり広場」の開催】						
В	どを望む人が多く、利用件数は減少傾向である。			情報発信の媒体を見直し、周知を強化するほか、支援が必要な方へ直接声掛けをするなど、利力者の増加に向けて取り組む。				
個別事業名	事業概要	目標スケシ	<b>ジュール</b>	2021年度(参考値)	2022年度	2023年度	2024年度	
スマート保育の実施(「行政版デジ	保護者との連絡などのデジタル化を実	導入施設数 (累計)	実績値/目標値	2施設/2施設	7施設/7施設	46施設/46施設	-/54施設	
タル化実行計画」より再掲)	証し、順次市内施設へ導入		達成状況	0	0	0	_	
子育て支援アプリの機能拡充(「行政版 ②	子育て支援アプリに休日保育予約機能	アプリからの申込率	実績値/目標値	_	市LINE公式アカウントの予約機能を活用 (24%) /40%	<b>%</b> ⁄2	7	
デジタル化実行計画」より再掲)	を拡充		達成状況	_	Δ	終了		
オンライン相談・オンライン「お	オンラインを活用した子育て相談や座	オンラインによる講	実績値/目標値	18件/5件	13件/18件	8件/20件	一/22件	
しゃべり広場」の開催	談会を実施	座実施数	達成状況	0	Δ	×	_	

# 基本方針2 希望のライフスタイルの実現

施策名	2023年度 実	施状況の総括		今後の方向性				
(3)デジタル技術などを 体験する場の提供	【「びんごキッズラボ」の開催】 ・地元の大学及び企業との連携やコンプ 者数が目標を大きく上回った。(仮称) 可能な開催が課題である。 【子ども未来館構想の推進】	子ども未来館の機運	譲成に向けた持続	【「びんごキッズラボ」の開催】 ・地元大学や高校との連携を強化することで、コンテンツ内容の充実や持続可能な開催に取り組む。 【子ども未来館構想の推進】 ・導入可能性調査を早期に完了するほか、整備事業者選定に向けて取り組む。				
評価	▼策定した基本構想を実現するため、具体 ・部有識者の意見を取り入れるとともに、							
A	見も反映させながら、基本計画を策定し ンディング調査における民間事業者の ディング調査をすることとし、調査期間							
個別事業名	事業概要	目標スケシ	<b>ジュール</b>	2021年度(参考値)	2022年度	2023年度	2024年度	
「びんごキッズラボ」の開催(「産	子どもを対象としたデジタル技術等体	参加者数	実績値/目標値	579/500人	1,399人/1,000人	1,905人/1,000人	一/1,000人	
業のデジタル化」より再掲)	験イベントの開催		達成状況	0	0	0	_	
② 子ども未来館構想の推進	科学やテクノロジーに触れることがで きる(仮称)子ども未来館を設置	(仮称)子ども未来 館の設置	実績値/目標値	基本構想の策定/基本構想・基本計画の策定		基本計画の策定/基本計画の策 定、導入可能性調査	ー/導入可能性調査、設計等の事 業者選定	
		(水が) 丁Cも木木貼を改良   路の改良		×		0	_	

# 基本方針3 地域コミュニティのデジタル化と人材育成

施策名	2023年度 実	<b>産施状況の総括</b>		今後の方向性				
(1) 地域活動のデジタル化支援	【地域活動のデジタル化支援】 ・地域活動デジタル化意識醸成事業でし、目標の参加者数を達成した。	【地域活動のデジタル化支援】 ・地域活動デジタル化意識醸成事業では、引き続き地域でのデジタルツールの導入に向けた活用事例の共有に取り組む。						
評価	・地域のデジタル化のモデル創出事業では、交流館単位でスマートフォンの相 談会や学区の公式LINE立ち上げなどを支援した。			・地域のデジタル化のモデル創出事業では、引き続き住民がスマートフォン等のデジタル機器に 継続的に触れるモデルの構築に取り組む。				
В								
個別事業名	事業概要	目標スケシ	<b>ジュール</b>	2021年度(参考値)	2022年度	2023年度	2024年度	
地域活動デジタル化意識醸成事業	地域団体を対象にデジタル化のセミ	セミナーへの参加者	実績値/目標値	_	248人/80人	381人/330人	一/410人	
(びんごデジタルラボ)	ナーを開催	数(累計)	達成状況	_	0	0	_	
地域情報のデジタル化(「行政版デ	地域自らがデジタル技術を活用した情報には、窓にはなるようにませる。		実績値/目標値	14学区/支援14学区	46学区/ニーズ調査の検討/希望する学 区を随時支援	59学区/ニーズ調査の検討・希望する 学区を随時支援	ー/ニーズ調査の検討・希望する学区 を随時支援	
ジタル化実行計画」 より再掲)	報伝達、発信ができるよう支援	援 	達成状況	0	0	0	_	
③ 地域のデジタル化のモデル創出事業	スマートフォンアプリを活用した地域	モデル学区数	実績値/目標値	_	_	2学区/3学区	ー/効果検証の上、他学区へ展開	
・ 地域のナンダル他のモナル創山事業	交流セミナーを実施		達成状況	_	_	Δ	_	

基本方針3 地域コミュニティのデジタル化と人材育成

施策名	2023年度 実	産施状況の総括		今後の方向性				
	【スマートフォンの購入支援・講習会の ・昨年度に続き、スマートフォンの購入 行う高齢者デジタル活用支援事業を実施 た」という声があったため、高齢者の関標達成に至った。 ・スマートフォンの基本的な使い方が	参加しやすい環境を整備するほか、講座に対する満足度を向上させるため、アンケート結果から 判明したニーズを反映させるなど、講座内容の充実に取り組む。 【地域団体向け「びんごデジタルラボ・アカデミー」の開催】						
<b>評価</b>	度のニーズを踏まえ、実施回数を大幅に めるため、地域の状況に沿った研修メニ 施した。	- に増やした。また、講 <sup>:</sup>	習会の満足度を高	え、地域活動に役立つデジタルツールの使い方を学べる研修会を開催する。				
A	【地域団体向け「びんごデジタルラボ・SNS等を地域活動に導入する手法を体標の参加者数を達成するなど、地域団体できた。	本験しながら学ぶセミ	- ナーを実施し、目					
個別事業名	事業概要	目標スケシ	<b>ジュール</b>	2021年度(参考値)	2022年度	2023年度	2024年度	
① デジタルサービス講習会の実施(「行政 版デジタル化実行計画」より再掲)	デジタル活用に理解や技術が不十分な 人を対象に、講習会を開催	講習会実施	実績値/目標値 達成状況	23%/10% ©	40%/30% ©	67%/65% ©	-/100% -	
( ) I   D   D   D   D   D   D   D   D   D		事業でスマートフォンを 購入・買い替えた高齢者 数	実績値/目標値 達成状況	_ _	7,946人/10,000人	3,826人/3,000人	-/高齢者のデジタルサービスの利用 拡大 -	
3 地域団体向け「びんごデジタルラ ボ・アカデミー」の開催	WOOD BRITTON BC C TO WILLIAM CH	地域住民向けアカデミー への参加者数 (累計)	実績値/目標値 達成状況	_ _	248人/80人 ©	381人/330人	一/410人 一	